

# 操作説明書

## CMB-1200

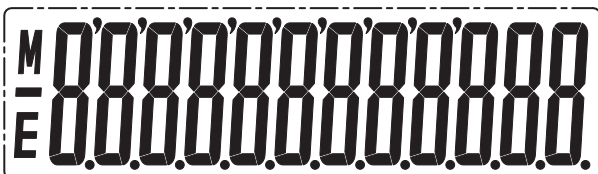
### 操作キーの説明

	電源オン、クリア、クリアエントリー
	独立メモリーに記憶されている数値をリコール(呼び出し)するときとクリア(削除)するときに使います。 ◇一度押した場合は、記憶された数値をリコールします。 ◇二度押した場合は、記憶された数値をクリアします。 ※メモリーで積算された数値は、【ON/C-CE】キーではクリアされませんので、必ず【MRC】を二回押してクリアしてください。
	メモリー + (表示された値を独立メモリーに加えます)。
	メモリー - (表示された値を独立メモリーから引きます)。
	符号入替 (表示されている値の符号を正負入れ替えます)。
	右シフトキー (表示された値を右へずらし、一番右の桁を消去します)。
	一度にゼロを2桁、「00」の入力ができます。
	数値を入力するときに使います。
	数値の小数点を入力するときに使用します。
	加算・減算・乗算・除算をするときに使います。
	パーセント

### 表示部の説明

表示ディスプレイ	記号名	説明
•	カンマ	3桁取りのカンマ
•	小数点	【小数点】キーを入力するか、計算に余りが生じた場合などに表示されます。
M	メモリー表示	独立メモリーマーク
-	マイナス表示	数値が負数になったときに表示します。
E	オーバーフロー	結果が表示可能桁数以上になった場合に表示します。

表示ディスプレイ



### 操作例

- ① 電源オン、クリア、クリアエントリー
- ② 液晶表示画面に、「M」が表示されていないことを確認してください。表示されている場合は、前の計算のメモリー計算が保存されたままです。【MRC】キーを押して数値をクリアしてください。
- ③ 演算命令【+ - × ÷】キーを押したあとは、数値の訂正はできません。

計算例	キー操作	表示ディスプレイ
100+50-30=120. (-10)×20÷0.5=-400.	100  50  30 10  20  0.5	120. -400.
12.34 34.56 -56.78 78.90 ----- 69.02	12  34 34  56 56  78 78  90	12.34 46.90 -9.88 69.02
10% of 1500 =(1500+10%) 5% add-on of 1500 =(1500+5%) 5% off of 1500 =(1500-5%) percentage of 20 against 500	15   10 15   5 15   5 20  5	150. 1575. 1425. 4.
368+97+97= 839-47-47-47= 5 <sup>4</sup> = 5 <sup>3</sup> =	368  97 839  47 5  4 5  3	562. 698. 0.008 125
12×4-20÷2=38	12  4  20  2 	M 38.
123478+5=123483	123456  78 5	123' 456. 1' 234. 123' 478. 123' 483.
456+378= 378	456  378 	0. 834.

### オーバーフローについて

次のような場合、オーバーフロー (E) が表示され、そのあとの置数や演算が停止します。【ON/C.CE】キーを一回押して、オーバーフローを解除してからもう一度、置数や演算を行ってください。

演算の結果の整数が12桁をこえた場合	1,234,567,890 × 1,234 = 1,523,456,776,260	E=1.52345677626
除数が0の除算を行った場合	1 ÷ 0 = 0	E = 0.